

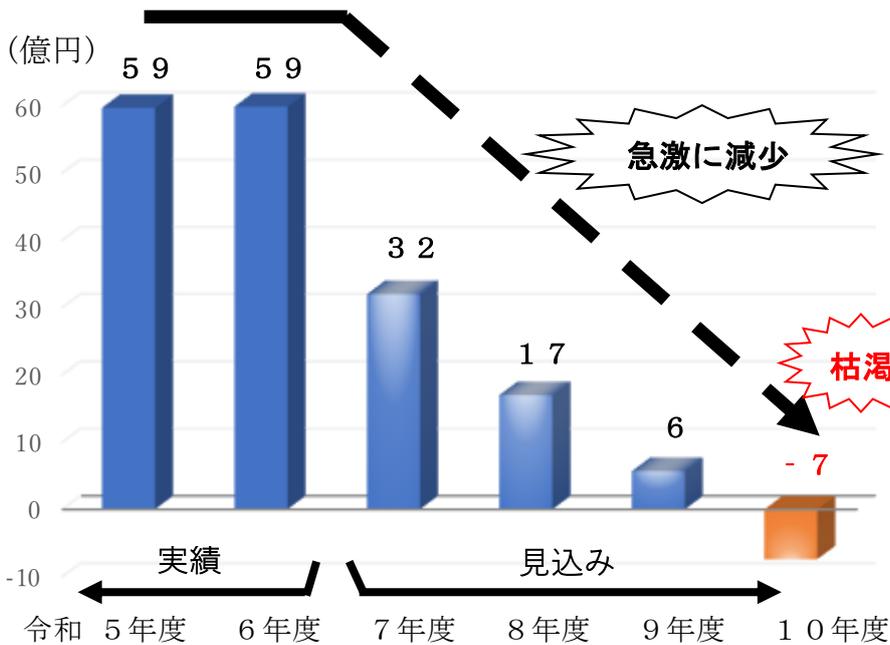
財政非常事態宣言

碧南市は、これまで高い財政力を活かし、多くの公共施設をはじめとした、市民負担を極力抑えた質の高いサービスを提供してきました。

しかし、近年の物価高騰、人件費上昇による経費の増加、公共施設の老朽化に伴う修繕費の増加、市民病院の経営悪化に伴う資金投入の大幅な増加により、市の財政調整基金（貯金）の残高が急激に減少しています。

また、令和8年度以降はアメリカの関税政策の影響により、法人市民税の大幅な減収が予想されることから、しばらくの間、さらに厳しい財政状況が続くことを想定しています。

財政調整基金残高（年度末）



財政調整基金とは

一般的には市の貯金です。財源に余裕のある年度に積み立てを行い、税収減などによって収入が不足したり、臨時的に多額の経費の支出がある年度に取り崩しを行うことにより、年度によって生じる収支の不均衡を調整します。

このような状況にあっても、持続可能な市民サービスを継続するため、「財政非常事態宣言」を発出し、全庁一丸となって、収入の確保及び支出の抑制に取り組む緊急行財政対策を実施します。

市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和7年9月24日 碧南市長 小池 友妃子

緊急行財政対策

収入の確保及び支出の抑制に向けて、標準的な市民負担やサービス水準で事業を実施すべく、各事業の見直しを行います。

◎ 目標

令和10年度末の財政調整基金（貯金）の残高20億円以上の確保

◎ 今後、重点的に検討していくこと

① 市民病院の経営改善

医師数の精査、不採算診療科の在り方や夜間救急体制の制限の検討

② 財源の確保

国や県の補助金、企業版ふるさと納税の更なる確保

③ 標準的な市民負担への見直し

使用料、市独自の無料施策、都市計画税の見直し

④ 公共施設の在り方

同一目的施設の廃止・休止、大規模修繕の一部凍結、市有財産の有効活用

⑤ 事務事業等の見直し

事業等の廃止・休止・縮小

⑥ 職員配置の見直し

緊急行財政対策の推進や市役所等の開庁時間変更に伴う市職員の配置見直し